

守山企業景況調査報告書

(第42回)

令和2年1月～令和2年3月期 実績

守山企業景況調査について

(令和2年1月～令和2年3月期)

1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 69 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	20	13	65.0%
製造業	13	10	76.9%
建設業	12	8	66.7%
サービス業	19	10	52.6%
卸売業	5	4	80.0%
合計	69	45	65.2%

3. 調査期間

調査期間は、実績を令和2年1月～令和2年3月とし、調査時点は令和2年4月30日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指標としてDI指数を採用した。DI指数とはDIffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算（経常利益）」、「従業員」のDI指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」のDI指数は3カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算（経常利益）の水準」のDI指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

調査の概要

昨年の同期との比較						
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	1～3 月期動向		1～3 月期動向		1～3 月期動向	
全体	▲ 52.3	大雨	▲ 42.2	大雨	▲ 51.1	大雨
小売業	▲ 76.9	大雨	▲ 61.5	大雨	▲ 76.9	大雨
製造業	▲ 70.0	大雨	▲ 50.0	大雨	▲ 70.0	大雨
建設業	0.0	曇	25.0	薄曇	0.0	曇
サービス業	▲ 50.0	大雨	▲ 60.0	大雨	▲ 50.0	大雨
卸売業	▲ 33.3	大雨	▲ 50.0	大雨	▲ 25.0	雨

DI 値が 30 以上=晴れ、10 以上 30 未満=薄曇、▲10 以上 10 未満=曇、▲30 以上▲10 未満=雨、▲30 未満=大雨

1 月～3 月期の調査結果を見ると、全体の DI は前回調査より大幅に下がり、全ての指標で▲30 未満の大雨となった。業種別に見ると、建設業は業況が 0.0、売上高は 25.0、採算が 0.0 と他の 4 業種とは全く異なる結果となった。令和 2 年 4 月から 7 月見通しは全ての業種、全ての指標で大雨が予想されており、かなり厳しい状況が続くと思われる。

新型コロナウイルスの影響についての自由意見には、「コロナ終息後の需要回復が見込めるのか、非常に不安であるが、今は借入で凌いで、とりあえず事業継続を考えるしかない」、「自粛要請の対応が難しい」「緊急事態宣言の全国拡大により、5 分の 1 ルール等出勤日数の削減やテレワーク等が業種によっては難題と考える」、「従業員だけでなく、地域を挙げて感染拡大防止策を徹底し、事業活動を継続させたい」などの意見が寄せられた。

